

まちせん便り

～まちものがたり～ vol.4

手稲鉄北

まちづくりセンター

各地のまちづくりの取組を各まちセンからみなさんに向けて発信します!



▲第1回目の曙連町の夏まつり



▲楽しいふれあい交流会

手稲鉄北地区は曙、稲山の2連合町内会と山口団地中央自治会の3つの連町（自治会）から成っており、それぞれが地域のふれあいを大切にした活動を行っています。今年の夏の行事をみてみると、連町として初めての夏祭りを実施した曙連町、仮装盆踊りもある賑やかな盆踊り大会を3日間実施した稲山連町、地域の施設と協力して祭りを開催した山口団地と、いずれも地域の皆さんの意気込みが感じられました。

お子さんからお年寄りまで幅広い年代の方々とのふれあいを大切に行っている鉄北地区ですが、一方で、65歳以上人口の割合が20.8%（平成17年10月1日現在）と区内で最も高い地区になっており、高齢化への対応が、これからの重要な課題の一つです。このようなことから、平成9年には、まちづくりセンター内に「福祉のまち推進センター」を設置し、事務局員が毎日交代で詰めるようにしました。ここでは見守りや相談

ふれあいから始まるまちづくり

地域の協力が福祉のまちを支えます

事業、施設のボランティア派遣などを行うほか、ひとり暮らしのお年寄りを対象とした、温泉での「ふれあい交流会」という事業も行っています。この交流会の案内状は、各町内会長からお年寄りに届けていただいております。福まちと町内会の協力体制が築かれている心強い例です。

曙連町では連町、民生・児童委員協議会、老人クラブ、福まちが「4者交流会」を開催し、各町内会でもお年寄りの昼食会を開催するなど、福祉に関する事業が活発に行われるようになってきました。これらの活動が自然に生まれてくるのは、地域の人たちが本当に必要としているものだからなのでしょう。

現在、鉄北地区内では、区画整理事業や宅地開発などが行われており、さらに大きな地域に発展していくとともに地域特性も変化していくかもしれません。しかし、地域の皆さんはそれに対応し、住みよいまちづくりを進めていくことでしょう。

次回はお休み。
一月号は前田まちセンから。

広告欄